

〈令和5年度版〉
南あわじ市

施策概要・事業費・財源を写真付きで分かりやすく解説

事業概要説明書

1万円単位の予算



本来市の予算は千円単位で記載していますが、事業概要説明書では分かりやすくするため、1万円単位で掲載しています。また、予算書の節と名称が異なるものもあります。前年度予算については、全ての補正予算を反映させることができないため、令和4年度当初予算の金額を記載しています。

～ 目 次 ～

令和5年度 重点事業

P. 1～P. 2

第1章

超高齢社会の克服

17 事業 P. 3～P. 8

第2章

子育て環境の向上と教育の充実

36 事業 P. 9～P. 20

第3章

地域の資源を活かした地元産業の活性化

52 事業 P. 21～P. 38

第4章

安全・安心のまちづくり

19 事業 P. 39～P. 45

第5章

「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

9事業 P. 46～P. 48

新型コロナウイルス感染症対策事業

P. 49

※各事業の「財源内訳」欄中、「ふるさとまちづくり基金」「子ども未来基金」「学ぶ楽しさ日本一基金」については、これまでに南あわじ市に寄附されたふるさと納税（ふるさと南あわじ応援寄附金）を原資としています。

※本説明書に記載されている担当課及び電話番号は令和4年度のものです。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略であり、平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された国際社会の共通目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、「令和12(2030年)」を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されます。

法的拘束力はありませんが、先進国・開発途上国を問わず、あらゆる人や事業者が参画し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むことが示されています。

アイコンの記載について

事業概要説明書では、以下に示すSDGsアイコンのうち該当するアイコンを3ページ以降にそれぞれ表示しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



令和5年度 重点事業

政策の柱である「五つの行動」のうち、「地域や人とのつながりによるまちづくり」「大阪・関西万博を見据えた環境整備」「子育て環境の安全・安心」に重点的に取り組みます。※令和4年度3月補正予算も含まれます。

(1) 地域や人とのつながりによるまちづくり



令和5年度事業費:10億9,477万円

地域と行政の協働によるまちづくりを推進するため、新たに地域の担い手づくり事業、自治会加入促進事業による地域コミュニティの支援を実施します。また、ふるさと南あわじ応援寄附金事業の奨励や若者ふるさと応援便事業などにより、ふるさととのつながり、関係人口の増加を図ります。

<地域との協働>

- ・地域の担い手づくり事業
事業費:400万円 (掲載P. 47 事業番号 4)
- ・自治会加入促進事業
事業費:200万円 (掲載P. 46 事業番号 2)
- ・地域づくりチャレンジ事業
事業費:1,000万円 (掲載P. 46 事業番号 3)
- ・道路除草及び側溝清掃助成事業
事業費:1,000万円 (掲載P. 41 事業番号 9)

<ふるさととのつながり>



- ・ふるさと南あわじ応援寄附金事業
事業費:10億4,500万円 (掲載P. 32 事業番号 35)
- ・若者ふるさと応援便事業
事業費:960万円 (掲載P. 35 事業番号 44)
- ・ふるさと同窓会応援事業
事業費:150万円 (掲載P. 35 事業番号 45)
- ・シティプロモーション推進事業
事業費:1,267万円 (掲載P. 48 事業番号 9)

(2) 大阪・関西万博を見据えた環境整備



令和5年度事業費:17億8,850万円

淡路島のさらなる魅力を引き出す大鳴門橋周辺環境整備事業や灘黒岩水仙郷リニューアル事業の観光施設を整備します。観光客の受け入れ体制の強化として、広域観光ブランディング事業、徳島空港線バスの実証運行などを実施します。そのほか、道路の補修や河川の樹木等の伐倒除去による景観美化に取り組みます。また、EVバスの導入や公用車の電気自動車導入など脱炭素を見据えた環境負荷の低減に取り組みます。

<観光の条件整備>

- ・大鳴門橋周辺環境整備事業
事業費:6億8,720万円 (掲載P. 30 事業番号 30)
- ・灘黒岩水仙郷リニューアル事業
事業費:3億9,246万円 (掲載P. 31 事業番号 31)
- ・広域観光ブランディング事業
事業費:1,850万円 (掲載P. 29 事業番号 26)
- ・徳島空港線バス実証運行事業
事業費:3,600万円 (掲載P. 30 事業番号 28)

・泉源開発事業

事業費:7,470万円（掲載P. 29 事業番号 27）



<インフラ環境美化>

・道路橋梁維持事業

事業費:3億7,130万円（掲載P. 42 事業番号 10）

（うち2,000万円は令和4年度3月補正予算）

・河川や都市排水路の維持

事業費:8,450万円（掲載P. 42 事業番号 12）

<脱炭素への取り組み>

・EVバス導入事業

事業費:7,520万円（掲載P. 27 事業番号 20）

・EV公用車導入事業

事業費:1,154万円（掲載P. 45 事業番号 19）

・温室効果ガス排出量の調査

事業費:1,000万円（掲載P. 27 事業番号 19）

・資源循環型産業体系構築事業

事業費:2,710万円（掲載P. 27 事業番号 21）

(3) 子育て環境の安全・安心

令和5年度事業費:3億4,636万円



ソフト面では高校生世代の医療費無償化、子育て応援コンソーシアムの本格稼働、伴走型子育て支援の推進、学ぶ楽しさ支援センターの運営などによる子育てにおける経済的、社会的な安全・安心の実現を目指します。ハード面では小学校音楽教室の空調設置、学校施設及び幼稚園等の予防改修、通学路のグリーンベルト・区画線の整備、転落防止柵・カーブミラーの設置などを行い、子育て環境の安全・安心を実現します。

<子育て・教育環境の充実>

・高校生世代までの医療費無償化

事業費:2,240万円（掲載P. 18 事業番号 30）

・子育て応援コンソーシアムの本格稼働

事業費:300万円（掲載P. 14 事業番号 17）

・出産・子育て応援事業

事業費:2,760万円（掲載P. 18 事業番号 29）

・学ぶ楽しさ支援センター運営事業

事業費:2,820万円（掲載P. 10 事業番号 5）

・新生児聴覚検査助成事業

事業費:125万円（掲載P. 16 事業番号 24）

・小学校音楽教室の空調整備

事業費:460万円（掲載P. 11 事業番号 9）

・小学校施設改修事業

事業費:1億2,650万円（掲載P. 11 事業番号 9）

・幼稚園施設改修事業

事業費:3,620万円（掲載P. 15 事業番号 20）

（うち1億1,760万円は令和4年度3月補正予算）

（うち2,880万円は令和4年度3月補正予算）

<通学路の安全・安心>

・通学路の安全確保

事業費:6,600万円（掲載P. 43 事業番号 13）



・交通安全啓発事業

事業費:1,256万円（掲載P. 43 事業番号 14）

・交通安全施設等の充実

事業費:1,805万円（掲載P. 43 事業番号 15）

第1章

超高齢社会の克服

高齢者等元気活躍推進事業



シニア世代の体力や生活スタイルに合う活躍を推進

有償ボランティア
おもしろポイント制

シニアの就労支援
ワークシェアリング

学び支援
生涯学習講座

担 市民協働課0799-43-5244

1

R5年度事業費 1,260万円
昨年度予算額 1,260万円

人口減少や超高齢化社会を克服する対策の一つとして、高齢者の体力や生活スタイルに合わせた多様な活躍を支援します。

具体的な手立てとして、有償ボランティア「おもしろポイント制度」、就労支援「働くシニア応援プロジェクト」、学びの場「生涯現役カレッジ」、活躍のための「シニアの生涯活躍総合相談窓口」を実施することで、高齢者等が地域社会を支える側に立ち続ける生涯活躍社会を目指します。

主な経費

高齢者等元気活躍推進事業支援業務委託料 900万円
おもしろポイント料 80万円

財源内訳

国庫支出金 425万円
おもしろポイント原資 80万円
ふるさとまちづくり基金 755万円



健康づくり事業（町ぐるみ健診等）



担 健康課0799-43-5218

2

R5年度事業費 1億912万円
昨年度予算額 9,687万円

心臓病や脳卒中などの生活習慣病を予防するため、健診による早期発見、正しい健康管理について保健指導や各種がん検診等を実施します。また、加入する健康保険において人間ドックの助成制度のない40歳以上の市民を対象に人間ドック受診費用の助成を行います。

主な経費

町ぐるみ健診委託料 9,870万円
看護師等報償費 277万円
人間ドック受診補助金 20万円

財源内訳

市一般財源 6,432万円
国庫支出金 27万円 / 県支出金 179万円
町ぐるみ健診個人負担金等 4,274万円



予防接種事業



担 健康課0799-43-5218

3

R5年度事業費 1億1,046万円
昨年度予算額 1億693万円

BCGや四種混合、麻しん風しん、小児肺炎球菌予防接種など、予防接種法で定められた定期接種を実施します。一定の年齢で接種を受けることが望ましいとされていることから、子どもの予防接種は無料です。

また、高齢者インフルエンザや高齢者肺炎球菌予防接種については、費用の一部を助成します。

主な経費

定期予防接種費（小児用肺炎球菌等） 7,678万円
高齢者インフルエンザ予防接種費 2,876万円
高齢者肺炎球菌予防接種費 298万円

財源内訳

市一般財源 1億1,041万円
県支出金 5万円



高齢者の保健事業と 介護予防の一体的実施事業



担 長寿・保険課0799-43-5217

4

R5年度事業費 123万円
昨年度予算額 250万円

高齢者の抱える多種多様な健康課題に対応するため、高齢者宅や、いきいき百歳体操などの通いの場へ、管理栄養士、理学療法士、保健師等が訪問して保健指導を行うなど、保健事業と介護予防を一体的に実施し、高齢者の健康増進、健康寿命の延伸を図ります。

主な経費

保健師等報償費 91万円
事務費 32万円

財源内訳

高齢者保健事業・介護予防一体的実施業務委託金
123万円



老人福祉サービス事業



担 長寿・保険課0799-43-5217

5

R5年度事業費 2億5,128万円
昨年度予算額 2億5,334万円

自立した生活が困難であったり、一人暮らしに不安がある高齢者に対して、施設入所の支援を行います。また、住み慣れた地域で継続して生活するための老人福祉サービスを提供します。

主な経費

養護老人ホーム保護措置費 2億1,800万円
高齢者生活支援ハウス運営委託料 600万円
在宅高齢者等紙おむつ支給事業 1,080万円

財源内訳

市一般財源 1億7,592万円
老人ホーム入所者個人等負担金・分担金 5,385万円
基金利子(地域福祉基金) 26万円
ふるさとまちづくり基金 2,125万円



高齢者の生きがいづくり事業



担 長寿・保険課0799-43-5217

6

R5年度事業費 3,126万円
昨年度予算額 3,189万円

健康や体力を維持、改善していくスポーツ大会や健康づくりのほか、在宅福祉を支える友愛活動や地域社会の日常的な奉仕活動などの社会福祉活動等を行う老人クラブに対して活動補助金を交付します。また、長寿を祝う敬老会等を実施する地区に対して補助を行います。

主な経費

単位老人クラブ補助金 1,467万円
敬老会事業補助金 723万円
老人クラブ連合会補助金 538万円

財源内訳

市一般財源 851万円
県支出金 1,020万円
ふるさとまちづくり基金 1,255万円



高齢者保健福祉月間祝福事業



担 長寿・保険課0799-43-5217

7

R5年度事業費 1,817万円
昨年度予算額 1,795万円

多年にわたり社会に貢献してきた高齢者に対し、感謝と長寿を祝福するために敬老祝金を支給するほか、百歳以上の長寿者と金婚夫婦に記念品を贈呈します。

主な経費

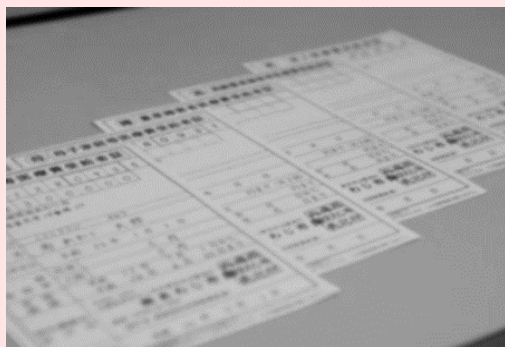
敬老祝金 1,729万円
長寿祝記念品 68万円
金婚夫婦記念品 20万円

財源内訳

市一般財源 1,017万円
ふるさとまちづくり基金 800万円



福祉医療費の助成



担 長寿・保険課0799-43-5217

8

R5年度事業費 1億1,636万円
昨年度予算額 1億1,727万円

高齢者や重度心身障害者など経済的に恵まれない方や医療費が高額になる方の医療費等を公費負担し、経済的負担の軽減を図ります。

主な経費

高齢期移行医療費助成金 380万円
重度障害者医療費助成金 5,740万円
高齢重度障害者医療費助成金 5,350万円

財源内訳

市一般財源 5,110万円
県支出金 5,146万円
高齢障給付調整金等 1,380万円



障害者相談支援体制の充実



担 福祉課0799-43-5216

9

R5年度事業費 1,573万円
昨年度予算額 1,573万円

「淡路圏域地域生活支援拠点」と「南あわじ市障害者基幹相談支援センター」を中心とした、障害者の地域生活相談及び支援を行います。

「地域生活支援拠点」では、障害者の高齢化等を見据え、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を整えるため、専門性の高い相談や困難ケースの対応、地域の支援体制づくりなどを実施します。

「障害者基幹相談支援センター」では、総合的・専門的な相談支援の実施をはじめ、地域の相談支援体制強化、地域移行・地域定着支援、権利擁護・虐待防止の普及・啓発などを進めます。

主な経費

障害者相談支援業務委託料 1,044万円
基幹相談支援センター業務委託料 223万円
地域生活拠点業務負担金 306万円

財源内訳

市一般財源 1,361万円
国庫支出金 141万円 / 県支出金 71万円



障害者（児）福祉サービス事業



担 福祉課0799-43-5216

10

R5年度事業費 10億6,772万円
 昨年度予算額 10億4,864万円

地域の中で一人ひとりが安心して障害に応じた生活が送れるよう生活介護や就労支援等の各種支援を行います。

主な経費

障害者総合支援（介護給付費・自立支援医療費） 9億4,244万円
 障害者総合支援（地域生活支援） 3,795万円
 地域活動支援センター基礎的事業補助金 1,582万円
 きらら・ウインズ指定管理料 1,300万円



財源内訳

市一般財源 3億2,001万円
 国庫支出金 4億9,629万円 / 県支出金 2億4,592万円
 ふるさとまちづくり基金 550万円

地域福祉拠点づくり・人材育成補助



担 福祉課0799-43-5216

11

R5年度事業費 2,650万円
 昨年度予算額 2,650万円

地域福祉の中核的機関として、福祉ニーズに応える社会福祉協議会へ補助金を交付します。補助金は、学習機会の提供や交流・ネットワーク推進、情報収集・提供、相談事業として、また、法人運営や地域福祉企画運営、地域福祉サービスにかかる事業費に活用されます。

主な経費

福祉コミュニティ推進費補助金 2,150万円
 生活困窮者支援基盤づくり事業委託料 400万円
 ボランティア活動支援費補助金 100万円



財源内訳

市一般財源 2,450万円
 国庫支出金 200万円

生活困窮者の支援



担 福祉課0799-43-5216

12

R5年度事業費 6億431万円
 昨年度予算額 6億6,877万円

資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて生活保護費を支給します。

また市役所に生活困窮者自立相談支援員を配置して常時窓口や電話相談に応じるとともに、就労支援員も配置し毎月2回のハローワーク巡回相談を開設するなど就労支援・相談も行います。

主な経費

医療扶助費 3億7,000万円
 生活扶助費 1億4,000万円
 住宅扶助費 4,000万円
 生活困窮者自立支援法関係事業 1,458万円



財源内訳

市一般財源 1億4,682万円
 国庫支出金 4億4,886万円
 県支出金 863万円

生活の安定を目的とした福祉施策



担 福祉課0799-43-5216

13

R5年度事業費 2,000万円
昨年度予算額 2,000万円

生活困窮者の負担軽減を目的とし、高齢者のみの世帯、障害者がいる世帯、ひとり親世帯等に対して、水道基本使用料等への補助により生活支援を行います。

主な経費

水道基本使用料等生活支援福祉補助金 2,000万円

財源内訳

市一般財源 1,000万円
ふるさとまちづくり基金 1,000万円



みんなの食堂事業 フードドライブ事業



担 福祉課0799-43-5216
市民協働課0799-43-5244

14

R5年度事業費 75万円
昨年度予算額 55万円

子どもの孤食を減らすための居場所づくり及び保護者への子育て支援を目的として、子ども食堂を運営する団体に対し補助を行います。

また、家庭等の食品ロスを減らし、必要とする人へつなぐため、毎月4か所の公民館において各家庭等で余っている食品の寄附を受けつけ、フードバンク等を通じて必要な人へ届けます。

主な経費

みんなの食堂事業補助金 50万円
フードドライブ事業チラシ印刷費等 25万円

財源内訳

市一般財源 25万円
ふるさとまちづくり基金 50万円



コミュニティバスの運行



担 市民協働課0799-43-5244
長寿・保険課0799-43-5217

15

R5年度事業費 1億3,398万円
昨年度予算額 1億1,861万円

市民の移動手段を確保するため、市内全域においてコミュニティバス「らん・らんバス」を運行します。

また、高齢者及び障害者への運賃助成による外出支援を行います。

主な経費

コミュニティバス運行委託料 1億1,113万円
高齢者・障害者への運賃助成 330万円

財源内訳

市一般財源 5,567万円
県支出金 1,001万円
運賃収入 1,100万円
ふるさとまちづくり基金 5,730万円



民間路線バスへの運行費補助金



担 市民協働課0799-43-5244

16

R5年度事業費 1,755万円
昨年度予算額 1,910万円

市民の生活移動手段となっている路線の存続の必要性から、民間路線バスの運行費を助成します。

また、住民及び観光客の利便性を向上するため、再編した洲本市コミュニティバス上灘・沼島線について、運行にかかる経費を洲本市と走行距離数で按分し負担します。

主な経費

地方路線バス運行補助金(長田線、鳥飼線) 1,441万円
市域間バス路線運行負担金(上灘・沼島線) 314万円

財源内訳

市一般財源 315万円
ふるさとまちづくり基金 1,440万円



バス利用促進事業(路線バス運賃助成)



担 市民協働課0799-43-5244

17

R5年度事業費 1,415万円
昨年度予算額 0万円

市域を跨いで運行する路線バスは通学や通院等市民の生活に欠かせないものであることから、路線の維持・確保につなげるため、運賃の約4割を助成することにより利用者の負担を軽減し利用促進を図ります。

主な経費

バス利用促進事業補助金 1,415万円

財源内訳

市一般財源 5万円
ふるさとまちづくり基金 1,410万円



第2章

子育て環境の向上と 教育の充実

コアカリキュラム推進事業



担 学校教育課0799-43-5231

1

R5年度事業費 240万円
昨年度予算額 400万円

南あわじ市が世界に誇る伝統芸能「淡路人形浄瑠璃」を学校教育の中心課程に据えて、義務教育の9年間の中で、実際に人形に触れながら歴史や背景、魅力を学び、主体的な学びを深める教育を推進します。

主な経費

淡路人形座出前講座等講師手数料 176万円

財源内訳

国庫支出金 120万円
学ぶ楽しさ日本一基金 120万円



読書活動推進事業



担 学校教育課0799-43-5231

2

R5年度事業費 1,160万円
昨年度予算額 656万円

子どもたちが読書習慣を身に付け、言葉への関心や理解を深めることで、読解力の向上を図り、豊かな心を育みます。

また、学校図書館の整備を進めるほか、学校司書を1人増員し、読書活動推進員とともに市立図書館や学校と連携し、読書活動を推進していきます。

主な経費

読書推進員報酬等 240万円
学校司書報酬等 600万円
図書室備品購入費 105万円
図書購入費 150万円

財源内訳

学校組合負担金 14万円
学ぶ楽しさ日本一基金 1,146万円



小中学校の英語教育の充実



担 学校教育課0799-43-5231

3

R5年度事業費 5,260万円
昨年度予算額 5,309万円

外国語指導助手(JETプログラム等)を小学校へ4人、中学校へ4人配置し、外国語活動や英語の授業を行います。また、外国語活動支援員を配置し、小3～小6の英語教育の充実を図ります。

主経費

外国語指導助手報酬(中学校4人) 1,717万円
外国語指導助手報酬(小学校4人) 1,823万円
外国語活動支援員報酬 858万円
外国人講師住宅借上料 401万円

財源内訳

市一般財源 4,399万円
学校組合負担金 645万円
講師住宅使用料 216万円



ICT環境整備事業



担 教育総務課0799-43-5230
学校教育課0799-43-5231

4

R5年度事業費 2億3,799万円
昨年度予算額 1億2,645万円

「GIGAスクール構想」に基づき、タブレット端末や電子黒板を使用した授業を実施し、今後の社会において基盤となる情報活用能力を養います。また、日ごろからタブレット端末を家庭へ持ち帰り、ドリル学習やオンライン学級活動などを実施し、コロナ禍等においても子どもたちの『学び』を止めない環境の構築を目指します。

主な経費

教育情報システム保守管理委託料 1億4,354万円
情報端末運用管理等業務委託料 7,616万円
電子黒板借上料等 1,701万円



財源内訳

学校組合負担金 1,823万円
学ぶ楽しさ日本一基金 2億1,976万円

学ぶ楽しさ支援センター運営事業



担 教育総務課0799-43-5230
学校教育課0799-43-5231

5

R5年度事業費 2,820万円
昨年度予算額 0万円

「学ぶ楽しさ支援センター」を開設し、教職員自主研修への支援、地域防災の担い手を育成する防災教育サテライト校の設置、様々な課題を抱える子ども・保護者等への個別相談を行います。

また、専門スタッフによる学習支援や生活習慣支援、豊かな体験機会を提供する「第三の居場所」として活用し、課題を抱える子どもたちが安心して通うことができる教育支援体制の確立を図ります。

主な経費

子どもの第三の居場所運営業務委託料 1,060万円
センター長報酬等 360万円
講師謝礼等 326万円

財源内訳

国庫支出金 213万円
子どもの第三の居場所運営事業助成金 1,200万円
防災教育フォーラム負担金 5万円
学ぶ楽しさ日本一基金 1,402万円



スクールチャレンジ事業



担 学校教育課0799-43-5231

6

R5年度事業費 620万円
昨年度予算額 620万円

「学ぶ楽しさ日本一」を目指す事業の一環として、学力向上、特別支援教育、いじめ・不登校問題など様々な課題に対応した教職員の資質向上研修や研究、体制づくり等を支援していくことで、各校が「学ぶ楽しさ」を追求する授業や行事、取り組みを展開し、特色ある学校づくりを進めていきます。

主な経費

スクールチャレンジ事業補助金 620万円

財源内訳

国庫支出金 310万円
学ぶ楽しさ日本一基金 310万円



不登校対策・心の相談の充実



担 学校教育課0799-43-5231

7

R5年度事業費 1,519万円
昨年度予算額 1,560万円

小中学校の引きこもり等の不登校者を受け入れるため、市内4か所で開設している適応教室で、学校復帰への支援・指導を実施します。また、学ぶ楽しさ支援センターと連携し、カウンセリングによる教育相談や教育指導などを行います。

主な経費

適応教室指導員報酬等 1,440万円

財源内訳

市一般財源 1,318万円
学校組合負担金 201万円



夢プロジェクト事業



担 体育青少年課0799-43-5234

8

R5年度事業費 400万円
昨年度予算額 300万円

小中学生を対象に、著名なスポーツ選手・文化人等を講師として招き、講演会を開催してスポーツや文化の魅力や楽しさ、努力する大切さを学ぶ機会を提供します。

主な経費

夢プロジェクト事業講師謝礼等 234万円

財源内訳

国庫支出金 200万円
企業版ふるさと南あわじ応援寄附金 200万円



小学校施設改修事業



担 教育総務課0799-43-5230

9

R5年度事業費 1,350万円
昨年度予算額 1,150万円

老朽化が進む小学校校舎について、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるように、小学校施設の改修工事を実施します。令和5年度は市小学校の耐力度調査、北阿万小学校の予防改修工事、市内小学校音楽室空調設置の実施設計を行います。北阿万小学校予防改修工事の事業費の一部と市小学校特別支援教室整備工事は令和4年度3月補正予算で計上し、令和5年度に繰越して実施します。

主な経費

市小学校耐力度調査 400万円
北阿万小学校改修工事監理 40万円
北阿万小学校改修工事 450万円
市内小学校音楽室空調設置実施設計 460万円

財源内訳

市一般財源 80万円
市債(過疎対策事業債) 810万円
市債(公共施設等適正管理推進事業債) 360万円
市債(学校教育施設等整備事業債) 100万円



小中学校施設営繕事業



担 教育総務課0799-43-5230

10

R5年度事業費 3,270万円
昨年度予算額 3,120万円

阿万小学校プール改修、辰美小学校トイレ洋式化、三原中学校体育倉庫改修など、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるように、小中学校施設の営繕等を行います。

主な経費

阿万小学校プール改修 1,510万円
辰美小学校トイレ洋式化 350万円
福良小学校給食用リフト改修 210万円
三原中学校体育倉庫改修 550万円

財源内訳

市一般財源 170万円
市債(過疎対策事業債) 2,530万円
市債(公共施設等適正管理推進事業債) 160万円
市債(学校教育施設等整備事業債) 410万円



小学校民間プール活用事業



担 学校教育課0799-43-5231

11

R5年度事業費 880万円
昨年度予算額 0万円

市内の民間屋内プールを水泳授業に活用し、天候に左右されずに安全・安心で専門性の高い水泳指導を行います。また、老朽化に伴うプール改修費の削減と、水泳指導における教員の負担軽減を図ります。

主な経費

プール使用料 110万円
プール指導料 110万円
バス借上料 660万円

財源内訳

市一般財源 230万円
学ぶ楽しさ日本一基金 650万円



子どもの遊び場づくり事業



担 教育総務課0799-43-5230

12

R5年度事業費 900万円
昨年度予算額 4,290万円

既存の公共施設を有効利用し、市民の憩いの場、交流の場及び子どもの遊び場づくりとして、親しみやすい環境を提供します。

小学校の校庭を、学校教育や社会体育活動に支障のない範囲で地域の人に開放します。

令和5年度は、阿万小学校の遊具整備工事を行います。

主な経費

学校遊具整備設計監理 100万円
学校遊具整備工事 800万円

財源内訳

市債(過疎対策事業債) 900万円



アフタースクール事業



担 体育青少年課0799-43-5234

13

R5年度事業費 1億81万円
昨年度予算額 8,123万円

放課後児童クラブ(学童保育)と放課後子ども教室を融合したアフタースクールを展開します。これまでの開設校区(7か所)に加え、新たに2か所の開設を進めていきます。専門講師や「まちの先生」といった地域の人材を活用しながら、遊びを通じた文化、スポーツなどの多種多様な体験プログラムを提供します。

主な経費

エリアマネージャー、スタッフ報酬等 6,281万円
講師等派遣委託料 600万円
講師等謝礼 1,850万円

財源内訳

市一般財源 1,363万円
国庫支出金 2,568万円 / 県支出金 1,308万円
アフタースクール事業利用料等 2,142万円
学ぶ楽しさ日本一基金 2,700万円



放課後児童クラブ(学童保育)



担 体育青少年課0799-43-5234

14

R5年度事業費 4,766万円
昨年度予算額 6,531万円

保護者の就労等により、昼間に留守となる家庭の児童を対象とした放課後児童クラブ(学童保育)を開設します。通常授業時は、授業終了時から午後6時まで、長期休暇中は午前8時から午後6時まで開設し、主に学校の空き教室等を利用して放課後の生活や遊びの場を提供します。

主な経費

支援員報酬等 3,568万円
学童保育業務委託料 555万円

財源内訳

市一般財源 97万円
国庫支出金 845万円 / 県支出金 845万円
学童保育利用料 979万円
子ども未来基金 2,000万円



放課後子ども教室



担 体育青少年課0799-43-5234

15

R5年度事業費 350万円
昨年度予算額 511万円

放課後の時間に、地域の方の協力を得ながら、公民館等で工作やおやつ作り等の体験活動や交流、遊びを通して子どもたちが健全に過ごせる居場所を提供します。

主な経費

教育活動サポーター謝礼 184万円
教育活動推進員謝礼 107万円
放課後子ども教室コーディネーター謝礼 24万円

財源内訳

市一般財源 3万円
県支出金 117万円
学ぶ楽しさ日本一基金 230万円



男女共同参画計画推進事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

16

R5年度事業費 200万円
 昨年度予算額 604万円

令和4年度に策定した第3次男女共同参画計画を踏まえ、性別役割分担意識の解消を目的とした講座などの啓発を市内事業所や市民を対象として開催します。また、男女共同参画の推進にあたっては、子育て応援コンソーシアムと連携し、効果的な取り組みを図ります。

主な経費

セミナー講師等謝礼 14万円
 男女共同参画啓発業務委託料 150万円

財源内訳

市一般財源 200万円



子育てにやさしい環境づくり事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

17

R5年度事業費 370万円
 昨年度予算額 190万円

「子育て応援コンソーシアム」を本格稼働させ、市内企業・団体等と情報及び課題の共有を行い、仕事と育児が両立できる環境づくりを推進します。

また、読解力の向上につなげる絵本ふれあい事業や大学と連携した子育て体験イベント等の実施による幼児教育の充実を目指します。

主な経費

子育て応援コンソーシアム運営支援業務委託料 300万円
 絵本ふれあい事業 30万円
 大学連携事業 40万円

財源内訳

子ども未来基金 370万円



子育て学習・支援センター (通称：ゆめるんセンター) の運営



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

18

R5年度事業費 1,685万円
 昨年度予算額 1,564万円

乳幼児を持つ親等を対象に、出前ひろばや年齢別ひろば、まみひろば、イクメン交流などを開催します。行事を通じて親同士の仲間づくりや子育て相談、子育てサークルやボランティアの育成などを目指します。また、休日には家族参加型のイベントも開催します。

主な経費

インストラクター報酬、補助員謝礼等 1,144万円
 センター運営費 542万円

財源内訳

国庫支出金 280万円 / 県支出金 280万円
 子育て学習・支援センター個人負担金 33万円
 子ども未来基金 1,092万円



就学前児童の教育・保育事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

19

R5年度事業費 5億3,600万円
昨年度予算額 5億229万円

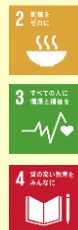
0歳児～小学校就学前の児童の健やかな成長が図られるよう、教育・保育の環境を充実させます。公立の保育所・幼稚園・こども園14施設を運営するほか、私立の保育所等に運営費の補助を行います。

主な経費

保育所運営費 2億3,446万円
幼稚園運営費 2,200万円
認定こども園運営費 2億5,954万円

財源内訳

市一般財源 1億1,236万円
国庫支出金 1億8,380万円 / 県支出金 8,440万円
保育料 4,399万円 / 給食費負担金等 5,285万円
子ども未来基金 4,010万円
市債(公共施設等適正管理推進事業債) 1,290万円
市債(過疎対策事業債) 560万円



幼稚園施設改修事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

20

R5年度事業費 740万円
昨年度予算額 290万円

老朽化が進む幼稚園の園舎について、園児が安全に活動できるよう大規模改修工事を実施します。

令和5年度は湊幼稚園の予防改修工事を行います。また、事業費については、一部を令和4年度3月補正予算で計上しています。

主な経費

湊幼稚園改修工事監理 120万円
湊幼稚園改修工事 620万円

財源内訳

市債(過疎対策事業債) 740万円



就学援助事業



担 学校教育課0799-43-5231

21

R5年度事業費 4,807万円
昨年度予算額 4,946万円

経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者(要保護及び準要保護世帯)に対して、学用品費・修学旅行費・学校給食費等の一部を援助します。

主な経費

小中学校就学援助費 2,067万円
小中学校特別支援教育就学奨励費 260万円
小中学校準要保護児童生徒給食費 2,428万円

財源内訳

市一般財源 4,679万円
国庫支出金 128万円



離島留学支援事業



担 学校教育課0799-43-5231

22

R5年度事業費 1,083万円
昨年度予算額 1,070万円

沼島の豊かな自然や歴史・文化の中で、9年間を通して個に応じたきめ細かな教育を提供するなど、学校の特色化を推進します。また、離島留学生や小規模特認校制度で校区外通学を希望する児童生徒を受け入れることで、沼島の活性化を目指します。

主な経費

通学費補助金 262万円
通学運行委託料 760万円

財源内訳

国庫支出金 542万円
学ぶ楽しさ日本一基金 541万円



不妊・不育症治療費の助成



担 健康課0799-43-5218

23

R5年度事業費 70万円
昨年度予算額 435万円

夫婦で受けた不妊検査や、不育症検査等に係る経済的負担の軽減を図るため、県の助成基準に従い治療費等の一部を助成します。

主な経費

特定不妊治療助成金 50万円
不妊治療ペア検査助成金 15万円
不育症治療費補助金 5万円

財源内訳

県支出金 10万円
子ども未来基金 60万円



妊婦健康診査費助成・出産支援事業



担 健康課0799-43-5218

24

R5年度事業費 2,154万円
昨年度予算額 2,110万円

妊婦がより健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えるために、妊婦健康診査費の一部を助成します。また、島外の医療機関で妊婦健診を受け、同一医療機関で出産した人に対して通院に係る費用の一部を助成します。さらに、令和5年度より先天性聴覚障害の早期発見のため、新生児聴覚検査費用の一部を助成します。

主な経費

妊婦健康診査補助金 1,860万円
出産支援事業補助金 169万円
新生児聴覚検査補助金 125万円

財源内訳

市一般財源 9万円
子ども未来基金 2,145万円



出産祝金の支給



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

25

R5年度事業費 1,240万円
 昨年度予算額 1,232万円

次代を担う子どもの出産を祝福するとともに、健やかな発育を願い、第1子・第2子に3万円、第3子以降は10万円の支給を行います。

主な経費

出産祝金 1,240万円

財源内訳

子ども未来基金 1,240万円



こんにちは赤ちゃん事業・乳幼児健診事業



担 健康課0799-43-5218

26

R5年度事業費 1,017万円
 昨年度予算額 1,103万円

生後4ヶ月までの乳児がいる家庭を保健師等が訪問し、育児・授乳・産後の身体のことなどの相談に応じます。また、乳幼児健診や相談等によって、乳幼児の心身の健やかな発達と健康の保持増進を図ります。

主な経費

乳幼児健診事業 824万円

母子衛生事業(乳幼児相談・育児支援訪問事業)
 318万円

財源内訳

市一般財源 932万円

国庫支出金 69万円

県支出金 16万円



母(父)子家庭への助成等



担 子育てゆめるん課0799-43-5219
 長寿・保険課0799-43-5217

27

R5年度事業費 1億6,311万円
 昨年度予算額 1億6,588万円

母(父)子家庭の生活の安定と自立を助けるため、所得に応じて児童扶養手当の支給、医療費の公費負担を行います。また、婦人共助会への助成や介護士・看護師など就職に有利な資格を取得するために、養成機関において専門的な訓練を受ける場合に、訓練促進費を支給します。

主な経費

児童扶養手当 1億5,060万円

母子家庭等医療費助成金 680万円

高等技能訓練促進事業補助金 240万円

母子保護費 240万円

財源内訳

市一般財源 1億256万円

国庫支出金 5,335万円 / 県支出金 400万円

子ども未来基金 320万円



ファミリーサポートセンター事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

28

R5年度事業費 226万円
昨年度予算額 229万円

保護者の体調が悪い時等に子どもを一時的に預かるサービスを提供します。サービスを提供する側と受ける側はそれぞれが会員登録を行い、ファミリーサポートセンターに配置されたアドバイザーが会員間の調整を行います。

主な経費

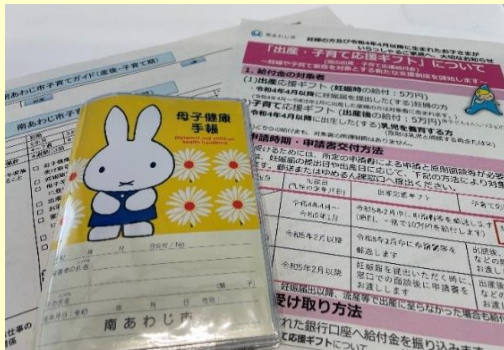
アドバイザー報酬等 176万円
講習会講師謝礼 6万円

財源内訳

市一般財源 76万円
国庫支出金 75万円
県支出金 75万円



出産・子育て応援事業



担 健康課0799-43-5218
子育てゆめるん課0799-43-5219

29

R5年度事業費 2,760万円
昨年度予算額 0万円

妊娠届出時より妊婦や低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」を行います。また、妊娠届や出産届を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る「経済的支援(妊婦1人あたり5万円、子ども1人あたり5万円)」を一体的に実施します。

主な経費

リーフレット作成業務委託料 200万円
出産・子育て応援給付 2,500万円

財源内訳

国庫支出金 1,840万円
県支出金 460万円
子ども未来基金 460万円



高校生世代までの医療費無償化



担 長寿・保険課0799-43-5217

30

R5年度事業費 1億6,953万円
昨年度予算額 1億4,760万円

「子育ての喜びが見えるまち」の実現のため、0歳～中学3年生までの医療費無償化に加え、令和5年度から高校生世代の医療費無償化を行います。(満1歳から所得制限あり)。

また、小児慢性特定疾病医療等の受給者を対象として、公費負担医療に係る費用を助成します。

主な経費

乳幼児等医療費助成金 5,197万円
こども医療費助成金 1,647万円
すこやか子育て支援費等(市単独) 9,338万円

財源内訳

市一般財源 3,925万円
県支出金 3,690万円
子ども未来基金 9,338万円



小児救急診療事業



担 健康課0799-43-5218

31

R5年度事業費 5,908万円
昨年度予算額 5,882万円

子ども(中学生以下)の急な疾病への対応として、休日夜間の小児救急外来や島内外の小児科医による輪番制診療を洲本応急診療所で行います。また、小児夜間救急の専用電話を設置し、すぐに診療が必要かを判断し当番医師を紹介します。

主な経費

小児救急診療医師謝礼 4,506万円
小児救急診療医師車借上料 1,180万円
小児救急診療業務負担金 165万円

財源内訳

小児救急診療業務負担金 3,778万円
子ども未来基金 2,130万円



歴史文化遺産活用事業



担 社会教育課0799-43-5232

32

R5年度事業費 328万円
昨年度予算額 340万円

松帆銅鐸をはじめとした地域の歴史文化遺産の認知度向上や郷土愛の醸成を目的として、幅広い年代が楽しめる体験教室やイベント、市民講座を実施します。

主な経費

歴史文化遺産活用事業補助金 200万円

財源内訳

市一般財源 318万円
市民講座参加費収入等 10万円



淡路人形浄瑠璃の伝承



担 社会教育課0799-43-5232

33

R5年度事業費 6,142万円
昨年度予算額 5,753万円

淡路人形浄瑠璃の後継者育成と淡路人形座の運営支援、及び人形浄瑠璃の保存伝承等を目的として、ふるさと南あわじ応援寄附金の一部を補助金として支出します。

また、AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)と連携して国内外に対するPRを行うほか、名誉市民で人間国宝、竹本駒之助氏の公演事業を支援します。

主な経費

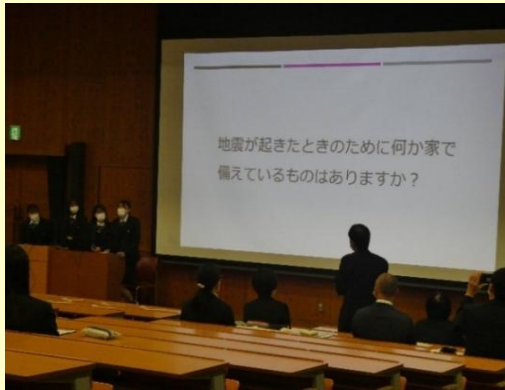
淡路人形座運営補助金 2,000万円
淡路人形浄瑠璃保存伝承事業補助金 3,560万円
淡路人形協会負担金 310万円
義太夫節浄瑠璃保存伝承事業補助金 50万円

財源内訳

市一般財源 2,332万円
ふるさとまちづくり基金 3,810万円



淡路三原高等学校地域活動支援事業



担 教育総務課0799-43-5230

34

R5年度事業費 100万円
昨年度予算額 100万円

淡路三原高等学校の生徒たちが、南あわじ市の魅力や課題などを学び、地域振興と地域貢献に寄与する活動を支援します。淡路三原高校、南あわじ市、淡路景観園芸学校、淡路青少年交流の家の4者の包括連携協定を効果的に運用し、市の課題に対して高校生の視点から解決案の提案等を行います。

主な経費

淡路三原高等学校地域活動支援事業補助金 100万円

財源内訳

市一般財源 100万円



美術館改修事業



担 社会教育課0799-43-5232

35

R5年度事業費 5,060万円
昨年度予算額 2,890万円

老朽化が進む美術館について、来館者が安全かつ快適に観覧できるようにエレベーターの更新及び2階展示室の照明改修工事を行います。

主な経費

エレベーター更新工事 2,860万円
2階展示室改修工事 2,200万円

財源内訳

市一般財源 510万円
市債(公共施設等適正管理推進事業債) 4,550万円



公民館改修事業



担 中央公民館0799-43-5038

36

R5年度事業費 1億720万円
昨年度予算額 1,430万円

利用者が安全で快適に利用できるよう公民館施設の改修工事を実施します。令和5年度は市地区公民館の移転に伴い、中央公民館の改修工事を行います。

主な経費

中央公民館改修工事監理 210万円
中央公民館改修工事 1億480万円

財源内訳

市一般財源 540万円
市債(合併特例事業債) 1億180万円



第3章

地域の資源を活かした 地元産業の活性化

地域計画策定推進緊急対策事業



担 農林振興課0799-43-5223

1

R5年度事業費 230万円
昨年度予算額 150万円

地域の住民で現状を把握し、将来の地域農業について話し合いを行うなど、地域計画(未来設計図)策定への取り組みに必要な経費を支援します。

また、優良事例の紹介や研修会など地域の話し合いの活性化に取り組めます

主な経費

地域計画アドバイザー謝礼 7万円
「集落の未来設計図」策定支援事業補助金 180万円

財源内訳

市一般財源 80万円
県支出金 50万円
ふるさとまちづくり基金 100万円



未来の担い手確保・育成総合支援事業



担 農林振興課0799-43-5223

2

R5年度事業費 120万円
昨年度予算額 120万円

新規就農者を受け入れる体制を強化するため、親方農業者の育成や、地域での環境整備等を行う取り組みを支援します。あわせて、就農セミナーへの参加、就農相談会の開催を行い、就農希望者に対して南あわじ農業をPRする取り組みを支援します。

また、学生を対象に新規就農者や女性農業者と交流する機会を設けることで農業への関心を高め、卒業後の就農・定住に繋がります。

主な経費

未来の担い手確保・育成支援事業補助金 120万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 120万円



有害鳥獣対策事業



担 農林振興課0799-43-5223

3

R5年度事業費 6,270万円
昨年度予算額 5,396万円

農林業等への鳥獣被害軽減のため、猟友会や集落、関係機関と連携し、捕獲や被害防止等の取り組みを推進します。

捕獲従事者の高齢化に対応するため、ICT導入等による捕獲効率向上を推進するとともに、捕獲時の労力軽減を図ります。

また、計画的かつ複合的な取り組みを進めるため、集落向けの助成制度を改正します。

主な経費

捕獲、狩猟に対する負担金等 3,520万円
回収・搬入・処理委託料等 132万円
被害防止対策事業(防護柵等) 2,506万円

財源内訳

市一般財源 2,770万円
県支出金 3,500万円



和牛・乳牛畜産農家の支援



担 農林振興課0799-43-5223

4

R5年度事業費 3,607万円
昨年度予算額 3,439万円

本市の循環型農業やブランド力を支える畜産業を振興するため、乳牛においては労働力軽減や乳質向上などの取り組みに対して、和牛においては優良な但馬牛の市場導入や自家保留などの取り組みに対してそれぞれ支援します。

また、乳牛及び和牛の体型や資質、能力の改良促進を目的とした畜産共進会の開催を支援するとともに、淡路食肉センター事業費の一部を負担します。

主な経費

食肉センター負担金 1,930万円
畜産共進会負担金 430万円
酪農振興事業補助金 600万円
優良和牛自家保留事業補助金 240万円

財源内訳

市一般財源 2,877万円
県支出金 120万円
ふるさとまちづくり基金 610万円



国産飼料生産拡大推進事業



担 農林振興課0799-43-5223

5

R5年度事業費 600万円
昨年度予算額 0万円

畜産農家の家畜飼料は大半が輸入に頼っており、国際情勢や円安による影響を大きく受けます。

その中でも輸入割合が高い「濃厚飼料」を、自ら生産する仕組みを構築することにより、輸入飼料の一部を国産飼料へ切り替え、飼料の自給率向上と水稲作付面積維持への取り組みを支援します。

主な経費

国産飼料生産拡大推進事業補助金 600万円

財源内訳

市一般財源 300万円
ふるさとまちづくり基金 300万円



森林環境譲与税活用事業



担 農林振興課0799-43-5223
社会教育課0799-43-5232

6

R5年度事業費 890万円
昨年度予算額 623万円

森林環境の維持・発展のため「森林環境譲与税」を活用し、林道の改修、松林の保全等を実施します。

また、慶野松原保存のための整備・活用の計画書を策定します。

主な経費

林道修繕事業 180万円
松くい虫防除事業 450万円
名勝慶野松原保存活用計画策定事業 260万円

財源内訳

市一般財源 618万円
国庫支出金 130万円
県支出金 142万円



ほ場整備事業



担 農地整備課0799-43-5225

7

R5年度事業費 3億4,451万円
昨年度予算額 3億1,949万円

農地の区画形質の改善と用排水路や農道の整備等を行うことで効率的な営農を行うため、ほ場整備を行います。

主な経費

県営ほ場整備受託事業(八幡北) 3,106万円
県営ほ場整備事業負担金 5,715万円
(湊里・養宜・片田・八幡北・倭文長田)
コンクリート畦畔整備工事等 2億2,500万円
(新田・国衙)

財源内訳

市一般財源 1,696万円
県支出金 2億410万円 / 地元分担金 2,755万円
市債(公共事業等債) 5,580万円
市債(過疎対策事業債) 3,650万円
市債(一般事業債) 360万円



ため池等整備事業



担 農地整備課0799-43-5225

8

R5年度事業費 1億6,318万円
昨年度予算額 7,857万円

ため池に関わる災害を未然に防止し、ため池の保全を図るため、堤体の水漏れ防止や取水施設・洪水吐などの改修工事を行います。改修をすることで、かんがい用水の安定的な確保と維持管理の省力化、洪水被害の軽減を図ります。

主な経費

ため池改修等調査設計委託料 200万円
ため池改修等工事費 1億2,500万円
県営ため池改修等事業負担金 4,250万円

財源内訳

市一般財源 484万円
県支出金 8,854万円 / 地元分担金 40万円
市債(公共事業等債) 2,940万円
市債(過疎対策事業債) 2,800万円
市債(緊急浚渫推進事業債) 1,200万円



オニオンロードの整備



担 農地整備課0799-43-5225

9

R5年度事業費 8,132万円
昨年度予算額 7,912万円

オニオンロード(南淡路広域農道)は南あわじ市阿万から洲本市千草までの約19.6kmの農道です。農業機械の大型化による農産物の集出荷の効率化を図るため兵庫県が着工して工事が進められており、経費の一部を負担します。

南あわじ市の区間については令和4年度で開通し、全線開通は令和7年度末の見込みです。

主な経費

県営広域営農団地農道整備事業負担金 8,132万円

財源内訳

市一般財源 822万円
市債(公共事業等債) 7,310万円



地籍調査事業



担 農地整備課0799-43-5225

10

R5年度事業費 3,331万円
 昨年度予算額 3,296万円

土地の境界や面積・地目を明確にするため、市内各地で地籍調査を行います。令和5年度は、令和4年度3月補正予算と一体的に5地区（湊、津井、阿那賀、倭文土井、松帆樺田）の調査・測量を実施します。

主な経費

三角多角等測量業務委託料 864万円
 伐採作業委託料 15万円

財源内訳

市一般財源 2,336万円
 県支出金 975万円
 公簿・図面等手数料 15万円
 図面等コピー使用料 5万円



多面的機能支払事業



担 農地整備課0799-43-5225

11

R5年度事業費 2億1,149万円
 昨年度予算額 2億1,226万円

農業者と地域住民で構成する「活動組織」が、地域ぐるみで取り組む農地・農業用水等の資源の保安全管理活動や農村環境の保全活動を支援します。また、老朽化が進む水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等を支援します。

主な経費

多面的機能支払活動支援交付金 2億808万円
 内訳：農地維持＋資源向上（共同活動）
 1億3,323万円
 資源向上（長寿命化） 7,485万円

財源内訳

市一般財源 5,282万円
 県支出金 1億5,867万円



水産資源の確保



担 水産振興課0799-43-5243

12

R5年度事業費 335万円
 昨年度予算額 335万円

漁獲量の減少や魚価の低迷による漁業経営の悪化を改善するため、アオリイカの産卵床（ウバメガシ）や産卵用タコ壺の設置、ワカメ種苗の生産試験といった資源増殖の取り組みに対して補助金を交付します。

主な経費

水産資源増大事業補助金（タコ壺・アオリイカ） 285万円
 ワカメ種苗生産試験補助金 50万円

財源内訳

市一般財源 335万円



漁場改良造成事業

藻場造成事業



13

R5年度事業費 150万円
昨年度予算額 300万円

近年、海水温の上昇や栄養塩の低下、水産資源の減少など漁場を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。
なかでも藻場の減少が顕著となっており、漁獲量への悪影響が危惧されています。
このような漁場環境を改善するため、藻場の造成試験を実施します。底質改善効果が見込めるナマコ類と相性の良い、アカモクの資源増大に取り組みます。

主な経費

藻場造成試験事業委託料 150万円

財源内訳

市債(過疎対策事業債) 150万円



栄養塩供給・底質改善事業



14

R5年度事業費 350万円
昨年度予算額 1,440万円

三原川河口の海域への栄養塩供給と底質改善、漁場環境改良を目的として、令和2～4年度に施工した河川浚渫土(砂)を活用した覆砂工事で、底質改善効果が見込める攪拌魚礁のモニタリング調査を実施します。

また、福良湾の底質の改善を目的として設置した牡蠣殻由来の底質改良剤について、モニタリング調査を実施します。

主な経費

覆砂・攪拌魚礁モニタリング調査業務委託料
200万円

福良湾底質改善モニタリング調査業務委託料
150万円

財源内訳

市債(過疎対策事業債) 350万円



並型魚礁設置事業



15

R5年度事業費 3,600万円
昨年度予算額 3,000万円

魚類が集まる良好な漁場形成のため、並型魚礁を設置し、漁場の生産性を高めます。

主な経費

並型魚礁設置工事費 3,480万円

魚礁効果調査委託料 120万円

財源内訳

県支出金 3,000万円

市債(過疎対策事業債) 600万円



担 水産振興課0799-43-5243

栽培漁業推進事業（中間育成）



担 水産振興課0799-43-5243

16

R5年度事業費 2,011万円
昨年度予算額 1,401万円

年々減少傾向にある漁獲量を増やし、漁業経営の安定化を図るため、タイやヒラメ、キジハタ、オコゼ等の稚魚を福良洲崎の中間育成施設で育成し、放流します。また、底質を改善し、海底からの栄養塩供給を促す効果も期待される豊かな海再生種苗（ナマコ、クマエビ）の放流も行い、将来にわたって安定的に魚が獲れるような「つくり育てる漁業」を推進します。

主な経費

中間育成事業委託料等 1,301万円
非常用発電機更新工事 610万円
浅海域増殖事業補助金 100万円

財源内訳

市一般財源 101万円
市債（過疎対策事業債） 1,910万円



南あわじ市漁業再生指導事業



担 水産振興課0799-43-5243

17

R5年度事業費 280万円
昨年度予算額 340万円

水産振興の有識者を招き、美菜恋来屋などの鮮魚売場の改善指導や、漁業者の技術向上に向けた講習会の開催など、魚価の向上に関する取り組みを実施しています。引き続き、漁協・直販試験の指導、漁業者研修、資源漁場管理などに取り組み、漁業者の所得向上を目指します。

主な経費

漁業再生指導業務講師等手数料 263万円

財源内訳

市一般財源 10万円
市債（過疎対策事業債） 270万円



陸の港西淡管理事業



担 市民協働課0799-43-5244

18

R5年度事業費 2,734万円
昨年度予算額 2,725万円

公共交通利用者にとって本市の玄関口である陸の港西淡において、切符販売、土産物等販売、観光案内、レンタサイクルの管理等の運営業務を行います。

主な経費

陸の港西淡運営管理業務委託料 2,300万円

財源内訳

市一般財源 2,074万円
行政財産使用料（自動販売機設置使用料） 12万円
乗車券販売手数料等 648万円



脱炭素への取組み

温室効果ガス排出量の調査



担 環境課0799-43-5214

EVバス導入事業 (コミュニティバスの運行)



担 市民協働課0799-43-5244

資源循環型産業体系構築事業



担 農林振興課0799-43-5223

19

R5年度事業費 1,000万円
昨年度予算額 0万円

2050年カーボンニュートラル実現に向け、温室効果ガスの排出量調査を実施します。また、市内の再生可能エネルギーの現況推計と導入の可能性について調査を実施します。

主な経費

温室効果ガス排出量調査業務委託料 1,000万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,000万円



20

R5年度事業費 7,520万円
昨年度予算額 0万円

温室効果ガスの排出量削減による環境負荷の少ない社会を構築することを目的に、コミュニティバス「らん・らんバス」の一部にEV(電動)車両を導入します。

令和5年度は車両導入及び充電設備の整備を実施し、令和6年度からの運行開始を目指します。

主な経費

EVバス購入費 5,020万円

充電設備設置工事費 2,500万円

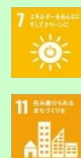
財源内訳

市一般財源 3万円

国庫支出金 2,107万円

市債(脱炭素化推進事業債) 4,870万円

ふるさとまちづくり基金 540万円



21

R5年度事業費 2,710万円
昨年度予算額 5,930万円

玉ねぎ残渣や下水汚泥などのバイオマス資源を地域内で処理し、再生可能エネルギーの創出、資源・経済循環システムの構築を図るため、メタン発酵施設の整備を推進します。

また、アメリカミズアブを活用し養殖魚用飼料を生産する地域コミュニティ型資源循環サイクルの構築に向けた調査研究を引き続き実施します。

主な経費

消化液製造加工業務委託料 1,300万円

メタン発酵施設基本設計照査業務委託料 750万円

資源循環構築事業負担金 620万円

財源内訳

市一般財源 90万円

国庫支出金 310万円

ふるさとまちづくり基金 2,310万円



食の拠点推進事業



担 食の拠点推進課0799-43-5224

22

R5年度事業費 1,302万円
昨年度予算額 1,816万円

淡路島の野菜、肉、魚、酪農乳製品等の特産品が集まるあわじ島まるごと食の拠点施設において、出荷農家の販売品目の多様化を進めるとともに、未利用魚・低利用魚や認知度の低い野菜のPR、食育・収穫体験などのイベントの開催など都市と農村の交流を支援します。

主な経費

食の拠点施設指定管理料 400万円
駐車場警備負担金 400万円

財源内訳

市一般財源 979万円
公有財産建物共済分担金 3万円
ふるさとまちづくり基金 320万円



イングランドの丘の管理運営



担 商工観光課0799-43-5221

23

R5年度事業費 1億193万円
昨年度予算額 1億3,165万円

野菜や果物の収穫体験、動物とのふれあいなどを楽しむことができる観光施設「淡路ファームパークイングランドの丘」の管理・運営を支援し、コアラを観光の目玉として市内への観光客の誘致を図ります。

主な経費

コアラ等特殊動植物管理委託料 8,580万円
地域特産物PRイベント補助金 50万円

財源内訳

市一般財源 252万円
県支出金 9,921万円
建物共済分担金 20万円



農畜水産物販売人材育成事業



担 商工観光課0799-43-5221

24

R5年度事業費 300万円
昨年度予算額 300万円

第1次産業生産者の販売力強化の取り組みとして、市内の若手生産者に対して、勉強会や首都圏への視察研修を行うことにより販路拡大やマーケティングスキルの習得を支援します。

主な経費

農畜水産物販売人材育成事業委託料 160万円
参加者旅費等 120万円
講師等謝礼 20万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 300万円



観光客誘致への取り組み



担 商工観光課0799-43-5221

25

R5年度事業費 2,277万円
 昨年度予算額 2,107万円

令和5年3月に策定される次期淡路島総合観光戦略に基づき、淡路島が一体となり大阪・関西万博とデスティネーションキャンペーンに向けた観光戦略や淡路島日本遺産、サイクルツーリズム等を推進し、観光客誘致に取り組みます。また、本市では観光ガイドの養成等に取り組み、長期滞在型観光を推進します。

主な経費

淡路島観光協会補助金 1,250万円
 淡路島総合観光戦略推進事業負担金 580万円
 淡路島観光圏協議会負担金 100万円
 淡路島日本遺産委員会負担金 120万円
 長期滞在型観光推進事業 170万円

財源内訳

市一般財源 1,407万円
 国庫支出金 350万円
 ふるさとまちづくり基金 520万円



広域観光ブランディング事業



担 商工観光課0799-43-5221

26

R5年度事業費 1,850万円
 昨年度予算額 2,714万円

「鳴門海峡の渦潮」を中心とする観光エリアのブランディングを行い、「食・自然・アクティビティ」をキーワードに鳴門市と連携した観光資源の開発や観光地としての魅力を高めることで、新しい人の流れの創出、滞在時間の延伸による消費額向上、持続可能な地域づくりを目指します。

主な経費

広域観光ブランディング業務委託料 1,850万円

財源内訳

市一般財源 25万円
 国庫支出金 925万円
 ふるさとまちづくり基金 900万円



泉源開発事業



担 商工観光課0799-43-5221

27

R5年度事業費 7,470万円
 昨年度予算額 0万円

市内における将来の温泉湯量不足、泉源枯渇に備えるため、南あわじ温泉郷事業協同組合が実施する「泉源開発事業」に対し補助金を交付します。

主な経費

泉源開発事業補助金 7,470万円

財源内訳

市一般財源 4,980万円
 ふるさとまちづくり基金 2,490万円



徳島空港線バス実証運行事業



担 市民協働課0799-43-5244

28

R5年度事業費 3,600万円
昨年度予算額 0万円

2025年開催予定の大阪・関西万博を見据え、徳島空港をハブとした関東圏等からの観光客やビジネス客等の誘客促進に資する路線の可能性について検証することを目的とし、徳島空港と本市を結ぶ徳島空港線バスの実証運行を実施します。

主な経費

徳島空港線バス実証運行事業補助金 3,600万円

財源内訳

県支出金 1,000万円

ふるさとまちづくり基金 2,600万円



鳴門の渦潮世界遺産登録を推進



担 うずしお世界遺産推進課0799-43-5207

29

R5年度事業費 573万円
昨年度予算額 540万円

世界に誇る鳴門海峡の渦潮について、世界遺産への登録を推進し、人類共通の財産として地域の関心や愛着を高めるとともに、ふるさと資源として保全と活用を行い、地域の活性化に繋げていくため、学術調査や情報発信を行う協議会へ負担金を支出します。

また、令和2年度に友好協定を締結したサルトラウメン海峡の渦潮を有するノルウェー王国のボーダ市と観光や産業面での交流を図ります。

主な経費

兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録

推進協議会負担金 80万円

友好都市提携関連経費 377万円

財源内訳

市一般財源 3万円

ふるさとまちづくり基金 570万円



大鳴門橋周辺環境整備事業



担 建築技術室0799-43-5252

30

R5年度事業費 6億8,720万円
昨年度予算額 2億2,600万円

大阪・関西万博を契機に交流人口の増加を図るため、大鳴門橋周辺の大鳴門橋記念館、笹山駐車場及び道の駅うずしお(みさき荘)までの施設整備を行います。

令和5年度は道の駅うずしおリニューアル工事、市道阿那賀50号線の拡幅工事等を実施します。

主な経費

道の駅うずしおリニューアル工事費 6億3,320万円

市道拡幅工事費 3,580万円

水道施設関連整備工事費 1,820万円

財源内訳

国庫支出金 2億円

市債(過疎対策事業債) 4億8,720万円



灘黒岩水仙郷リニューアル事業



担 建築技術室0799-43-5252

31

R5年度事業費 3億9,246万円
 昨年度予算額 4億4,340万円

観光施設拠点の一つである灘黒岩水仙郷をリニューアルし、観光及び地域の活性化を図ります。

令和4年度から令和5年度にかけて、新たな施設と園路の整備工事と水仙開花促進のため園地の基盤整備工事を実施します。

主な経費

灘黒岩水仙郷外構工事 3億1,700万円
 灘黒岩水仙郷駐車場等整備工事費 5,820万円
 灘黒岩水仙郷園路整備事業費 1,726万円

財源内訳

市一般財源 6万円
 市債(辺地対策事業債) 1億5,000万円
 市債(過疎対策事業債) 2億4,240万円



商工業団体等への補助



担 商工観光課0799-43-5221

32

R5年度事業費 3,567万円
 昨年度予算額 3,572万円

中小企業の健全な育成や地場産業の販路拡大、技術向上を目的に、南あわじ市商工会と淡路瓦工業組合へ補助金を交付します。

主な経費

商工会補助金 2,867万円
 地場産業(淡路瓦)ブランド形成支援事業補助金 700万円

財源内訳

市一般財源 2,867万円
 市債(過疎対策事業債) 700万円



にぎわいづくり事業



担 商工観光課0799-43-5221

33

R5年度事業費 750万円
 昨年度予算額 750万円

市内の観光事業者、商工団体、NPO法人等が主体となって、新たなイベント等で交流人口の増加を目指す「にぎわいづくり」事業に対し補助金を交付します。

主な経費

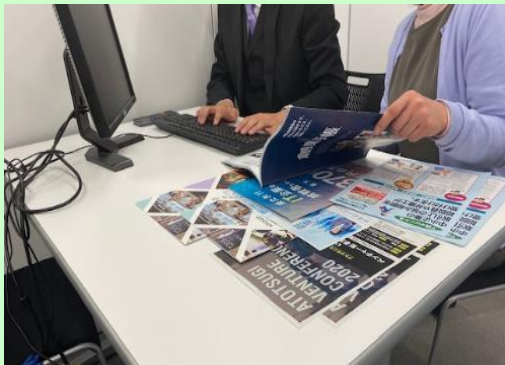
南あわじ市にぎわいづくり事業補助金 750万円

財源内訳

市債(過疎対策事業債) 500万円
 ふるさとまちづくり基金 250万円



産業活力アップ起業支援事業



担 商工観光課0799-43-5221

34

R5年度事業費 3,600万円

昨年度予算額 2,600万円

地域経済の活性化及び雇用の確保を図るため、事務所等開設費や起業後のランニングコストに加え、空き家や空き店舗の取得費用など、起業等に要する費用の一部に補助を行います。

また、兵庫県と協調し、高度IT技術を要する起業家やコワーキングスペースの開設費の一部に補助を行います。

主な経費

産業活力アップ起業支援事業補助金 3,600万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 3,600万円



ふるさと南あわじ応援寄附金事業の奨励



担 ふるさと創生課0799-43-5205

35

R5年度事業費 10億4,500万円

昨年度予算額 7億7,100万円

ふるさと南あわじ応援寄附金事業を奨励し、本市の魅力ある地場産品や地域資源を全国に発信し、本市のファン・サポーター（関係人口）の増大を図ります。

また、魅力ある返礼品の開発を行い、効果的な広報活動により幅広い年代に南あわじ市の認知度を向上させ、「ふるさと南あわじ応援寄附金」の増加を目指します。

主な経費

寄附金返礼品代 6億円

返礼品配送代 1億3,400万円

ポータルサイト利用料 2億2,000万円

財源内訳

市一般財源 10億4,500万円



介護・看護人材確保対策事業



担 福祉課0799-43-5216

36

R5年度事業費 1,000万円

昨年度予算額 744万円

介護・看護人材の安定的な確保を図るとともに移住・定住の促進を目的として、社会福祉法人等に就職する介護・看護職員に対して、就労一時金の支給及び家賃の補助を行います。

主な経費

介護・看護職員確保対策補助金 1,000万円

財源内訳

市一般財源 500万円

ふるさとまちづくり基金 500万円



保育士確保対策事業



担 子育てゆめるん課0799-43-5219

37

R5年度事業費 410万円
 昨年度予算額 580万円

保育士不足を解消し、子育て環境の充実を図るため、島外からの新規採用保育士へ就労支援一時金の支給や民間賃貸住宅等の借上げに要する経費の一部助成を行います。

主な経費

移住保育士家賃補助金 320万円
 移住保育士就労支援一時金 90万円

財源内訳

子ども未来基金 410万円



新規就農者育成総合対策事業



担 農林振興課0799-43-5223

38

R5年度事業費 2,675万円
 昨年度予算額 4,145万円

新規に就農する際に、経営が不安定な就農初期段階で機械・施設等の導入や資金にかかる支援を行います。

また、認定農業者等の後継者が農業経営を継承し、発展させる取り組みに対して支援を行います。

主な経費

新規就農者育成総合対策事業補助金 2,675万円

財源内訳

市一般財源 100万円
 県支出金 2,475万円
 経営継承・発展事業補助金 100万円



農業女子プロジェクト事業



担 農林振興課0799-43-5223

39

R5年度事業費 100万円
 昨年度予算額 130万円

女性農業者同士の連携を深め活躍の場を創出するため、4人以上で組織する女性農業者のグループが取り組む新品種の栽培、地産メニューの開発や6次産業化への取り組み等に対し、10万円を上限に補助を行います。

また、グループ活動に対する支援に加え、南あわじ市のPRを目的とした活動を行う農業女子メンバーを募集し、南あわじ市の農業の活性化と知名度の向上を目指します。

主な経費

農業女子プロジェクト事業補助金 100万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 100万円



水産業就業体験事業



担 水産振興課0799-43-5243

40

R5年度事業費 100万円
昨年度予算額 200万円

新規就業希望者や漁業体験希望者に対する体験漁業の支援を実施します。本取り組みにより、南あわじ市の漁業への関心を高め、漁業の担い手確保を図ります。

主な経費

水産業就業体験事業補助金 100万円

財源内訳

市一般財源 100万円



地域おこし協力隊推進事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205
食の拠点推進課0799-43-5224
水産振興課0799-43-5243

41

R5年度事業費 1,671万円
昨年度予算額 1,271万円

都市部からの意欲ある人材を地域おこし協力隊として受け入れ、地域活性化及び産業振興を図ります。

農業・水産業分野においては、市内の生産者等と協力し、農産物の中量中品目栽培の推進、未利用魚・低利用魚の消費拡大に繋がる活動等を行い、地産地消、地元食材のPRに取り組みます。

また、地域と連携して実施する「地域密着型」においては、受入地域を増やして実施し、地域の課題解決を図ります。

主な経費

報酬等 1,031万円

活動費 640万円

財源内訳

市一般財源 1,630万円

住宅使用料 41万円



奨学金等返済支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

42

R5年度事業費 770万円
昨年度予算額 240万円

地域を支える若者の生活を支援するため、南あわじ市に定住し、奨学金等を返済しながら働く若者に対し、返済金の一部を補助します。(1年間:上限24万円 ※5年間:上限120万円)

主な経費

奨学金等返済支援事業補助金 770万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 770万円



ECサイト管理運営事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

43

R5年度事業費 310万円
昨年度予算額 1,057万円

市の特産物のPRと販路拡大を目的として、ECサイト「南あわじマルシェ」の運営を行います。

ふるさと納税特設サイトと連携し、返礼品と同じ品物を出品するなどにより、新たな寄附者やファンの獲得を図ります。

主な経費

ECサイト商品配送業務委託料 200万円
広告料 80万円

財源内訳

ECサイト販売収入 200万円
ふるさとまちづくり基金 110万円



若者ふるさと応援便事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

44

R5年度事業費 960万円
昨年度予算額 1,300万円

ふるさと南あわじ市を離れ、将来の夢に向かって頑張っている本市出身の若者へ、ECサイト「南あわじマルシェ」で使えるポイントを付与します。

本市とのつながりを継続し、関係人口の増大や郷土愛を深めるきっかけをつくります。

主な経費

若者ふるさと応援便配送業務委託料 920万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 960万円



ふるさと同窓会応援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

45

R5年度事業費 150万円
昨年度予算額 0万円

市と継続的なつながりを持つ関係人口の増加と、移住定住の促進を図るため、市民と市出身者との交流機会である同窓会経費の一部を補助します。

主な経費

ふるさと同窓会応援事業補助金 150万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 150万円



空き家活用推進事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

46

R5年度事業費 1,750万円
昨年度予算額 1,080万円

急増する空き家利用ニーズに的確に対応するため、利活用が見込める空き家を空き家バンクに登録した場合等に補助金を交付します。(適正登記補助:一律3万円、適正管理補助:上限7万円)

また、空き家改修に係る費用等の一部を補助します。(島内在住者:上限115万円、島外在住者:上限125万円)

主な経費

空き家確保支援事業補助金 100万円
定住促進空き家活用支援事業補助金 1,650万円

財源内訳

県支出金 50万円
ふるさとまちづくり基金 1,700万円



マイホーム取得補助事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

47

R5年度事業費 5,000万円
昨年度予算額 4,260万円

島外からの転入者の増加ならびに定住促進を図るため、市内に住宅を建築または購入する方へ住宅取得費用の一部を補助します。(新築・建売住宅:上限200万円、中古住宅:上限100万円、中学生以下の加算:1人につき30万円)

主な経費

マイホーム取得事業補助金 5,000万円

財源内訳

市一般財源 2,500万円
ふるさとまちづくり基金 2,500万円



移住支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

48

R5年度事業費 1,660万円
昨年度予算額 575万円

島外から市内へ移住(UJIターン)する意思のある人に対して民間賃貸住宅への居住にかかる初期費用や移住にかかる費用の一部を補助することにより、費用負担の軽減を行い、本市への移住・定住の促進を図ります。また、移住世帯については、転入より一定期間経過時に奨励金を交付します。(おためし居住世帯:上限30万円、移住世帯:上限50万円)

主な経費

移住支援補助金 1,300万円
移住奨励金 360万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,660万円



多世代同居・近居支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

49

R5年度事業費 3,600万円
昨年度予算額 4,000万円

市内の定住促進、家族の絆の再生や地域における共助を目的として、多世代で同居や近居をする際の住宅取得費またはリフォーム費用の一部を補助します。(上限100万円)

主な経費

多世代同居・近居支援事業補助金 3,600万円

財源内訳

市一般財源 1,780万円
ふるさとまちづくり基金 1,820万円



通勤・通学者交通費助成事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

50

R5年度事業費 1,100万円
昨年度予算額 1,100万円

定住人口維持のため、高速バス等を利用する通勤・通学者へ交通費を助成します。交通費に対する助成額は、通勤者(通勤手当を除く)及び島内通学者は2割、島外通学者3割となっています。

主な経費

通勤・通学者交通費助成金 1,100万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,100万円



結婚新生活支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

51

R5年度事業費 400万円
昨年度予算額 330万円

婚姻による新生活をスタートするためのイニシャルコスト(敷金・礼金、引越費用等)の一部を支援し、経済的負担を軽減することで結婚促進、定住促進を図ります。(上限30万円 ※夫婦とも29歳以下の場合:上限60万円)

主な経費

結婚新生活支援補助金 400万円

財源内訳

国庫支出金 200万円
ふるさとまちづくり基金 200万円



新婚世帯家賃補助事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

52

R5年度事業費 1,240万円
昨年度予算額 1,170万円

定住促進事業として、新婚世帯で民間の賃貸住宅に入居している方へ補助金を交付します。補助金の限度額は、家賃に応じて定められており、期間は最長3年間となっています。(家賃月額3～5万円未満: 月額5千円、家賃月額5万以上: 月額1万円)

主な経費

新婚世帯家賃補助金 1,240万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 1,240万円



第4章

安全・安心のまちづくり

防災ジュニアリーダー養成事業



担 学校教育課0799-43-5231

1

R5年度事業費 196万円

昨年度予算額 257万円

阪神淡路大震災や東日本大震災などを踏まえ、児童生徒が自らの命を守る力を身につけさせる従来の安全教育に加え、防災教育授業や学習会を実施するほか、東北の被災地へ児童生徒を派遣し、「防災ジュニアリーダー」を養成します。

主な経費

車借上料 103万円

被災地派遣事業負担金 60万円

財源内訳

学校組合負担金 26万円

学ぶ楽しさ日本一基金 170万円



消防団活動の充実



担 危機管理課0799-43-5203

2

R5年度事業費 5,787万円

昨年度予算額 5,505万円

消防団は地域における消防力・防災力の向上、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

今後想定される南海トラフ地震への備え、自主防災組織等と連携した日々の訓練や機器の点検、準中型自動車免許等の取得など、多岐にわたる消防団の活動に対して支援を行います。

主な経費

消防団員報酬 3,349万円

出動手当・訓練手当 1,920万円

消防団活動補助金 318万円

車両免許取得等補助金 200万円

財源内訳

市一般財源 5,787万円



自主防災組織等の育成



担 危機管理課0799-43-5203

3

R5年度事業費 767万円

昨年度予算額 797万円

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織に対し、防災学習会や防災資機材購入等の補助を行います。また、地域防災の担い手育成のため、防災士やひょうご防災リーダーの資格取得にかかる経費の一部を補助します。

主な経費

自主防災組織育成事業補助金 730万円

地域防災リーダー養成補助金 25万円

財源内訳

市一般財源 767万円



消防防災体制の充実



担 危機管理課0799-43-5203

4

R5年度事業費 1,940万円
昨年度予算額 4,932万円

老朽化した消防団の消防車両や小型動力ポンプの整備、更新を行います。また、消防屯所や器具庫等の新築、改修等へ補助を行い、消防・防災体制の充実を図ります。

主な経費

消防施設用備品購入費(車両、ポンプ) 1,450万円
消防設備整備等補助金 490万円

財源内訳

市一般財源 490万円
市債(緊急防災・減災事業債) 1,450万円



大規模災害への備え



担 危機管理課0799-43-5203

5

R5年度事業費 2,770万円
昨年度予算額 910万円

大規模災害に備えて、阿万中西地区の避難経路整備工事や避難所の衛生的な生活環境を確保するため、福良小学校、阿万小学校、南淡中学校にマンホールトイレを設置します。

また、ドローンによる迅速な被害状況の調査や情報収集を可能とするため運行ルートの経路図作成を実施します。

主な経費

避難路整備工事費 1,200万円
マンホールトイレ設置工事費 1,320万円
備品購入費 150万円
ドローン経路図作成業務委託料 100万円

財源内訳

市一般財源 100万円
市債(緊急防災・減災事業債) 2,670万円



防犯対策事業



担 危機管理課0799-43-5203

6

R5年度事業費 220万円
昨年度予算額 120万円

地域の見守り力向上を図るため、自治会等の地域団体が行う防犯カメラ設置に要した経費の一部に対して、補助(上限12万円)を行います。

また、電話を用いた特殊詐欺等による被害の未然防止を図るため、自動録音電話機等の購入経費の一部(上限8千円)を補助します。

主な経費

防犯カメラ設置補助金 180万円
自動録音電話機等設置補助金 40万円

財源内訳

市一般財源 130万円
県支出金 90万円



治水総合対策事業



担 建設課0799-43-5226

7

R5年度事業費 2億9,110万円
昨年度予算額 0万円

三原川流域等で発生する浸水被害を防止軽減するため、排水ポンプの新設や排水機場の更新を実施します。

令和5年度は湊東1排水ポンプ場及び周辺の排水路整備と志知川南排水機場の改修工事を実施します。

主な経費

実施設計業務委託料 600万円
排水施設整備工事費 2億8,510万円

財源内訳

市債(防災対策事業債) 2億9,110万円



排水対策事業



担 建設課0799-43-5226

8

R5年度事業費 1,000万円
昨年度予算額 3億1,720万円

高潮や津波浸水軽減対策として、兵庫県が実施する防潮堤や水門等の整備に伴い、高潮時の雨水を効率よく排水するための内水排水対策を並行して実施します。

令和5年度は県が実施中の高潮対策事業の関連として福良向谷地区の内水対策工事を行います。

主な経費

高潮対策関連工事費 1,000万円

財源内訳

市債(緊急防災・減災事業債) 1,000万円



道路除草や側溝清掃への助成



担 建設課0799-43-5226

9

R5年度事業費 1,000万円
昨年度予算額 0万円

地域の良好な道路環境等の維持を目指し、地域住民が自ら行う市道の除草、側溝清掃に対し、助成金を交付します。

主な経費

道路除草側溝清掃助成金 1,000万円

財源内訳

市一般財源 1,000万円



道路橋梁維持事業



道路新設改良事業



河川や都市排水路の維持



担 建設課0799-43-5226

10

R5年度事業費 3億5,130万円

昨年度予算額 3億3,770万円

市内道路について、地区からの要望や著しく舗装の劣化が進んだ路線、通学路等の重点的な修繕を実施します。また、令和4年度に見直しを行った橋梁長寿命化計画を基に、橋梁長寿命化工事を実施します。令和4年度3月補正予算で事業費の一部を計上しています。

主な経費

市内道路等維持修繕工事費 1億9,030万円

橋梁長寿命化工事費 1億4,600万円

財源内訳

市一般財源 6,433万円 / 国庫支出金 7,207万円

市債(公共事業等債) 4,850万円

市債(合併特例事業債) 7,290万円

市債(緊急防災・減災事業債) 800万円

市債(公共施設等適正管理推進事業債) 3,150万円

市債(過疎対策事業債) 5,400万円



11

R5年度事業費 3億680万円

昨年度予算額 3億640万円

市民の利便性向上を目的とし、国道、県道等へアクセスする道路の整備や拡幅工事を実施します。

主な経費

測量設計業務委託料 2,500万円

市道新設改良工事費 2億3,100万円

財源内訳

市一般財源 1,270万円 / 国庫支出金 6,250万円

市債(公共事業等債) 5,620万円

市債(合併特例事業債) 1億1,990万円

市債(辺地対策事業債) 3,000万円

市債(過疎対策事業債) 2,550万円



12

R5年度事業費 8,450万円

昨年度予算額 6,600万円

堆積土砂撤去等の河川整備工事や、河川の護岸修繕・排水路の整備工事を実施し、治水安全性の向上、環境美化を図ります。

主な経費

排水路整備工事費(3か所) 550万円

河川維持工事費(8か所) 4,000万円

河川環境整備工事費(3か所) 1,550万円

河川維持修繕費 1,100万円

財源内訳

市一般財源 2,530万円

県支出金 800万円

市債(緊急浚渫推進事業債) 3,250万円

市債(緊急自然災害防止対策事業債) 1,200万円

市債(一般事業債) 670万円



通学路の安全・安心

通学路の安全確保



担 建設課0799-43-5226

交通安全啓発事業



担 危機管理課0799-43-5203

交通安全施設等の充実



担 危機管理課0799-43-5203

13

R5年度事業費 6,600万円

昨年度予算額 3,850万円

近年通学時に自動車と子どもの接触事故が多発していることを踏まえ、安全・安心な通学路を確保するために、グリーンベルトの設置・補修及び道路の改良工事を実施します。

主な経費

通学路安全対策工事費 1,650万円

測量設計業務委託料 950万円

通学路改良工事費 4,000万円

財源内訳

市一般財源 200万円

学ぶ楽しさ日本一基金 1,000万円

ふるさとまちづくり基金 650万円

市債(過疎対策事業債) 1,000万円

市債(合併特例事業債) 3,750万円



14

R5年度事業費 1,256万円

昨年度予算額 1,256万円

交通事故防止を図るため、南あわじ交通安全協会が実施する交通安全啓発および交通事故防止活動に要した経費の一部に対して、補助を行います。また、交通安全巻看板の設置や交通安全啓発活動を実施します。

主な経費

交通安全協会補助金 1,100万円

交通安全巻看板設置 10万円

交通安全啓発配布物費 10万円

財源内訳

市一般財源 1,236万円

ふるさとまちづくり基金 20万円



15

R5年度事業費 1,805万円

昨年度予算額 1,661万円

交通安全及び防犯対策のため、カーブミラーや防犯灯を整備します。また、破損したカーブミラーの修繕や防犯灯の電球・器具の交換など既存設備の修繕も行います。

主な経費

市所有防犯灯の電気代 1,116万円

防犯灯及びカーブミラー設置、修繕、材料費 689万円

財源内訳

市一般財源 1,675万円

ふるさとまちづくり基金 130万円



漁港施設改修事業



担 水産振興課0799-43-5243

16

R5年度事業費 2,800万円
昨年度予算額 3,990万円

仁頃漁港における漁業活動の利便性を維持するため、新たに機能保全計画の作成を実施し、漁港施設の計画的な維持管理を図ります。また、灘漁港の機能診断のため、静穏度調査を実施します。

主な経費

漁港施設機能保全計画策定業務委託料 1,900万円
灘漁港静穏度調査業務委託料 900万円

財源内訳

県支出金 950万円
市債(過疎対策事業債) 1,850万円



空き家等対策事業



担 建設課0799-43-5226

17

R5年度事業費 2,026万円
昨年度予算額 1,443万円

空き家等対策の推進のため、倒壊等により周辺へ危害を与える可能性がある建物(老朽危険空き家)の除却に対して費用の一部を補助します。また、南あわじ市空き家等対策計画の見直しに伴う基礎資料として、空き家等の実態調査を実施します。

主な経費

老朽危険空き家除却支援事業補助金 1,066万円
空き家等実態調査業務委託料 850万円

財源内訳

市一般財源 735万円
国庫支出金 958万円
県支出金 333万円



ごみ減量化促進事業



コンポスト

電動生ごみ処理機

担 環境課0799-43-5214

18

R5年度事業費 295万円
昨年度予算額 0万円

ごみ減量化の取り組みとして雑紙回収用BOXの設置により雑紙の回収量を増やし、資源化を進めるとともに電動生ごみ処理機リース、電動生ごみ処理機・コンポスト設置に対して補助金を交付し、生ごみの減量化を図ります。

主な経費

雑紙回収BOX設置 55万円
電動生ごみ処理機借上料 50万円
ごみ減量化機器設置補助金 165万円

財源内訳

市一般財源 295万円



EV公用車導入事業



担 財務課0799-43-5210

19

R5年度事業費 1,154万円

昨年度予算額 1,575万円

災害時の電力供給源として電気自動車を導入し、公用車のクリーンエネルギー化、また地球温暖化対策の取り組みとして温室効果ガスの排出削減を図ります。

主な経費

車借上料 144万円

公用車購入費 1,010万円

財源内訳

市一般財源 254万円

市債(脱炭素化推進事業債) 900万円



第5章
「対話と行動の行政」の
実現によるまちづくり

協働のまちづくり



担 市民協働課0799-43-5244

1

R5年度事業費 1億5,932万円
 昨年度予算額 1億5,589万円

まちづくりをみんなで支え合う体制づくりを目指し、市民(地域)と行政との協働を適正に行うための仕組みを地域とともに創造します。

21地区の地域づくり協議会が実施する地域づくり事業に対し、地域づくり事業交付金による財政支援を行います。また、地域コミュニティの拠点である「市民交流センター」を運営し、住民主体の地域づくりに向けた支援を行うとともに、市役所窓口サービスの補完等を行います。

主な経費

地域づくり事業交付金(基礎事業) 1,500万円
 " (地域協働事業) 24万円
 市民交流センター長報酬、事務補助員報酬等
 1億4,251万円

財源内訳

市一般財源 1億5,932万円



地域コミュニティの支援



担 市民協働課 0799-43-5244

2

R5年度事業費 4,153万円
 昨年度予算額 4,310万円

住民福祉の向上及び行政施策の推進等の活動をしている連合自治会への補助や自治功労者の表彰、自治会集会所の新築・改修工事及びケーブルテレビ視聴料金に対する助成を行います。

また、新たに自治会加入促進に向けた取り組みに対しての補助金支援を行うとともに、令和4年度に作成した自治会運営ハンドブックを活用し、地域での話し合い支援等を行います。

主な経費

自治会活動補助金 1,814万円
 集会所改修補助金 1,750万円
 自治会加入促進事業補助金 200万円

財源内訳

市一般財源 103万円
 基金利子(地域振興基金) 2,100万円
 コミュニティ助成事業補助金 890万円
 ふるさとまちづくり基金 1,060万円



地域づくりチャレンジ事業への補助



担 市民協働課0799-43-5244

3

R5年度事業費 1,022万円
 昨年度予算額 1,027万円

地域が抱える課題解決に向けて具体的に取り組む事業に対して、行政がサポート役となり実現を後押しします。

市民交流センター及び市民協働課が地域と行政の繋ぎ役となり、事業者、地域、行政が互いの強みを活かした対処方法を、対話を行いながら考えていきます。また、話し合いから行動に移す際に必要となる事業立ち上げ時の経費に対して補助を行います。

主な経費

地域づくりチャレンジ補助金 1,000万円
 地域づくりチャレンジ事業外部審査員謝礼 22万円

財源内訳

市一般財源 22万円
 ふるさとまちづくり基金 1,000万円



地域の担い手づくり事業



担 市民協働課0799-43-5244

4

R5年度事業費 400万円
昨年度予算額 0万円

コロナ禍を乗り越え地域行事等が再開したことで、今後さらに活発な活動が期待される地域を支える新たな担い手が、幅広い世代の地域活動への参画を促進するために行う取り組みに対して支援を行います。

主な経費

地域の担い手づくり事業補助金 400万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 400万円



スマホ利活用支援事業



担 広報情報課0799-43-5206

5

R5年度事業費 650万円
昨年度予算額 1,300万円

デジタル時代の利便性を享受できる社会の実現に向けスマホの利活用を支援するため、スマホ相談窓口を市役所庁舎に設置します。また、各地区公民館に出張相談窓口を設置します。

主な経費

スマホ利活用支援業務委託料 650万円

財源内訳

市一般財源 650万円



広報・ホームページ・SNSによる情報発信



担 広報情報課0799-43-5206

6

R5年度事業費 1,423万円
昨年度予算額 1,272万円

市政情報の発信と地域話題をお知らせするため、広報南あわじを発行するとともに、ホームページ・SNSを積極的に活用します。

広報は読み手により分かりやすくするため、全ページフルカラー印刷としています。また、島内高校と、阪神間や四国の近隣大学に広報紙を設置し、若者世代へ市の魅力や情報を発信します。

主な経費

広報南あわじ印刷製本・折込料 1,170万円

ホームページ保守管理委託料 121万円

財源内訳

市一般財源 1,266万円

広告掲載料等 157万円



マイナンバーカード普及促進事業



担 総合窓口センター0799-43-5212

7

R5年度事業費 4,000万円
昨年度予算額 2,716万円

商業施設などへの休日出張申請、各施設や事業所への出張申請、さらに申請場所へ行くことが困難な人への戸別訪問を実施し、身近にマイナンバーカードが申請できる環境づくりを行うことで、マイナンバーカードの普及率向上を目指します。

主な経費

申請受付業務委託料 1,400万円
マイナンバーカード普及啓発員人件費 1,539万円
個人番号カード郵送料 485万円

財源内訳

国庫支出金 4,000万円



ふるさと創造支援事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

8

R5年度事業費 500万円
昨年度予算額 500万円

市から事業認定を受けて市内で自ら地域づくりに取り組む市民団体や、地域の産業や資源を活用して創業する事業者に対し、ガバメント・クラウドファンディング（政府や自治体が行うクラウドファンディング）により調達したふるさと南あわじ応援寄附金を活用し支援します。

主な経費

ふるさと創造支援事業補助金 500万円

財源内訳

ふるさと南あわじ応援寄附金 500万円



シティプロモーション推進事業



担 ふるさと創生課0799-43-5205

9

R5年度事業費 1,267万円
昨年度予算額 1,914万円

総務省の「地域活性化起業人」制度を活用し、民間企業から派遣いただいた専門人材を中心に、戦略的かつ効果的なPR手法を強化し、市の認知拡大と地域イメージのブランド化を図ります。

令和5年度は、シティプロモーション戦略の策定及び新たな情報発信ツールの開発のためデジタルサイネージ等を用いた実証実験を行います。

主な経費

地域活性化起業人派遣負担金 900万円
シティプロモーション人材育成等業務委託料 200万円

財源内訳

市一般財源 67万円
ふるさとまちづくり基金 1,200万円



新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルスワクチン接種事業



担 健康課0799-43-5218

1

R5年度事業費 1,300万円

昨年度予算額 1億1,100万円

新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に行うための体制を整備します。

主な経費

新型コロナウイルスワクチン接種医師委託料 550万円

コールセンター職員報酬等 294万円

予約システム利用料 132万円

財源内訳

国庫支出金 1,300万円

子育て施設等の感染拡大防止対策



担 子育てゆめるん課0799-43-5219
学校教育課0799-43-5231
体育青少年課0799-53-5234

2

R5年度事業費 928万円

昨年度予算額 840万円

市内の保育所・認定こども園・幼稚園・学童保育所に感染症対策用品を整備します。また学校施設については、令和4年度3月補正予算で、感染症対策物品等購入費を計上し、令和5年度に整備を行います。

主な経費

感染症対策物品等購入費 668万円

保育対策総合支援事業補助金 260万円

財源内訳

国庫支出金 401万円

県支出金 96万円

子ども未来基金 431万円

制度資金の利子補給等



担 商工観光課0799-43-5221
農林振興課0799-43-5225
水産振興課0799-43-5243

3

R5年度事業費 345万円

昨年度予算額 489万円

県の中小企業融資制度を利用した場合、信用保証料及び利子を補給します。

また、制度資金(美しい村づくり資金、豊かな海づくり資金)についても、同様に利子補給(無利子化)を行います。

主な経費

中小企業融資制度信用保証料・利子補給金 280万円

美しい村づくり資金利子補給 45万円

豊かな海づくり資金利子補給 20万円

財源内訳

ふるさとまちづくり基金 345万円

